



鹿児島大学病院広報誌

だより

25号  
2012.4

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会

## 〈目次〉

### 【診療科・部門紹介】

- ▶▶▶ 消化器外科 乳腺・内分泌外科
- ▶▶▶ 小児外科
- ▶▶▶ インプラント専門外来

- 患者サロンのご案内
- **病院再開発** モデルルームを造りました
- 錦江湾魚ごよみ

## 理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

## 基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

## 患者さんの権利と責務

### 〈患者さんの権利〉

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 人としての尊厳を尊重される権利
3. プライバシーや個人情報が保護される権利
4. 自分の状態や診療内容について説明と情報提供を受ける権利
5. 自分の意思で医療を選択する権利

### 〈患者さんの責務〉

1. 自分の健康状態についてできる限り正確な情報を提供する責務
2. 当院の規則を守り、迷惑行為を慎む責務
3. 診療費を速やかに支払う責務

# 消化管・肝胆膵・乳腺甲状腺の 消化器外科 乳腺・内分泌外科 専門的な診断と治療を行う

## 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座 消化器・乳腺甲状腺外科分野の紹介

Department of Digestive Surgery, Breast and Thyroid Surgery, Field of Oncology Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences

### 1) 当科の概要

当科は食道、胃、大腸、肝臓、胆道、膵臓、乳腺、甲状腺の疾患について専門的な診断と治療を行っています。対象となる疾患のほとんどは悪性腫瘍であり、これらに対して外科手術を中心とした最新の医療と様々な最先端の医学研究を展開しています。



### 2) 診療の特徴

- <消化管疾患> 食道：食道早期癌の内視鏡治療、食道進行癌に対する集学的治療や良性疾患に対する腹腔鏡下手術の他、基礎医学研究など多岐にわたって取り組んでいます。
- 胃：早期胃癌に対する最新の研究を臨床応用した低侵襲手術を行っています。難治性腹膜転移の治療や術後の後遺症を軽減する新しい手術法に取り組んでいます。
- 大腸：大腸癌治療に対して手術療法（腹腔鏡手術）、化学療法、放射線療法などの集学的治療を行っています。
- <肝胆膵疾患> 肝臓：先進医療“肝切除手術における画像支援ナビゲーション”を導入しています。腹腔鏡による肝切除や脾摘術も行っています。
- 胆道・膵臓：膵癌や胆道（胆管、胆嚢）癌に対して最新の抗癌剤治療、放射線治療と極めて安全性の高い膵臓手術のコンビネーションによる治療法を導入しています。
- <乳腺・甲状腺> 乳腺：乳腺切除後に自身の組織を利用した独自の再建術を行い、整容性の向上に努めています。
- 甲状腺：全国有数の内視鏡外科専門医による傷が目立たない手術を行っており、QOL向上を追求しています。



コンピュータ処理画像を利用した最新ナビゲーション手術



切除に必要なリンパ節だけを探し出す、センチネルノードナビゲーション技術



実験動物（ミニブタ）を用いた膵臓手術の研究開発風景

## 地域の小児外科としての 役割を果たす

突然ですが、みなさんは小児外科って知ってますか。

鹿児島県では数ヶ所しかないため知らない方も多いのではないのでしょうか。そしてなんとその役割の中心を鹿児島大学病院で担ってるんです。

そのため、離島を含めた鹿児島県全体を医療圏とし、地域の小児外科としての役割を果たすべく救急疾患や日常的疾患の診療はもちろんのこと、最先端の治療を取り入れ、子どもたちにとって最善の治療法を選択しています。

また、生まれたばかりの小さな赤ちゃんから思春期の中高生までを担当し、生まれつきの様々な疾患・小児がん・炎症性疾患・外傷など、頭部や心臓などの一部を除いてほぼ全身の手術を行っています。鏡視下手術も行い、低侵襲で創が目立たない手術、子どもたちの数十年先を見据えた治療を心がけています。手術という子どもたちにとって大きな試練を無事に乗り切り、屈託ない笑顔で日常生活を安心して送ることができるよう総合的な医療を実践しています。

今後も、子どもたちに手厚い治療を提供すべく、スタッフ一同誠意をもって努力し、皆さまのご期待にお応えしたいと考えています。

# 小児外科

## 歯を失ってお悩みの方へ！ 安全で確実なインプラント治療

# インプラント専門外来

インプラント治療は、歯を失った部分を人工的な歯で補う治療です。歯の根の役割をする人工歯根(インプラント体)を歯が失われた部分の顎の骨に埋め込み、それに冠をかぶせます。見た目や噛み心地は自分の歯に近いものとなります。

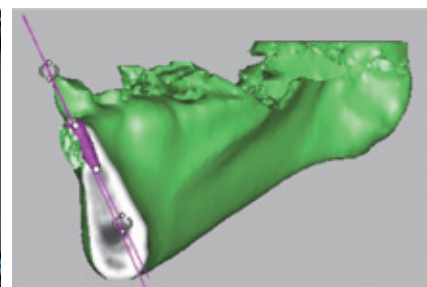
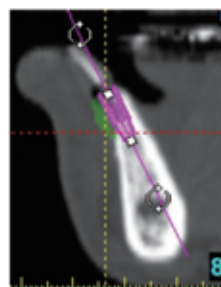
鹿児島大学病院インプラント専門外来では、インプラント体を埋め込む前に骨の厚さや強さをCT検査などで診察し、インプラント体を埋め込む位置や深さなどをコンピュータ・シミュレーションで決定します。その後、インプラントの埋め込み、冠の作製、メンテナンスなどを口腔外科専門医、補綴専門医、歯周病専門医などが行っていきます。また、骨が不足してインプラントの埋め込みに苦慮している患者さんでは、骨移植などで骨を増やしてインプラントを埋入しています。

尚、治療に必要なすべての処置(お薬、レントゲン撮影なども)は自費診療となります。治療内容など詳しく知りたい方は鹿児島大学病院インプラント専門外来までご相談ください。

鹿児島大学病院インプラント専門外来窓口  
成人系歯科センター歯周科  
TEL 099-275-6591



治療前  
(下顎前歯部に顎堤が萎縮した欠損を認める)



埋入シミュレーション  
(萎縮した顎堤部に骨移植とインプラント埋入)



インプラント治療後3年経過

## 患者サロンのご案内

### ～がん患者さんご家族のための 交流の場～

がん診療連携拠点病院である当院の相談支援センター（地域医療連携センター）では、がん相談支援看護師が、患者さんやご家族からの相談をお受けし、治療や療養生活に関する気がかりや心配事など、お話を伺いながら問題解決のためのお手伝いをしています。

相談支援センターの活動のひとつとして、2010年10月に患者さん、ご家族の方々の交流の場“患者サロン”を開いたしました。このサロンはがん患者団体である、NPO法人がんサポートかごしまのスタッフの協力を頂き、毎月、第2水曜日の午後2時から4時まで医科



診療棟3階のサロン室で開催しています。参加された方々は「仲間がいると思うと勇気がわいてきます」「日常生活のことや、食事の工夫などお互いに情報交換ができます」と話しておられます。

“あなたの歩いていく道は、すでに他の患者さんが歩いてきた道。あなたの歩いた道は他の患者さんがこれから歩いていく道”

サロンはお互いに支え合い、分かち合い、元気づけられる場所になっています。

当院以外の医療機関で治療中の方々もご利用いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

〈患者サロンに関するお問い合わせ〉

地域医療連携センター がん相談支援看護師 TEL 099-275-5970

## TOPICS

### 患者等の個人情報（USBの取扱い）及び医療安全の研修会を開催

本院全教職員を対象として、平成24年1月31日（火）17:30～18:30に鶴陵会館において、安全管理研修の一環として患者等の個人情報（USBの取扱い）及び医療安全の研修会を開催しました。

講師は、本院医療情報部副部長の村永文学講師で、「患者個人情報の保護について－職員の守るべきこと－」と題して講演していただき、本院教職員約380名の参加がありました。

本研修会は、昨年9月に患者さんの個人情報が入ったUSBを紛失するという事案が発生したことに伴い、個人情報の保護管理に関する意識の啓発を図り、患者さん等の個人情報の紛失を防ぐ方策について早急に取り組むことを目的に開催しました。

当日は、はじめに、患者さんの個人情報は、「患者さんのもの」であり、患者さんの同意を得て、利用目的を限定したうえで、「患者さんから預かったもの」であることの認識について説明がありました。引き続き、本院では個人情報の病院外への持ち出しを原則、禁止していること、USBメモリーを使用する場合は、暗証番号などが必要なものを使うよう義務づけるなど、個人情報の取扱いには一層、厳重にすることを注意喚起や、具体的な個人情報保護手順についての説明があり、参加者は、熱心に研修を受けていました。

## 接遇強化月間における 接遇講演会・研修・院内巡視を実施

本院では、患者さんからいただく苦情の多くは、接遇に関するものであることから、トラブルを防止するとともに、患者さんの満足度の向上を図り、より良い医療環境の整備を図ることを目的として、平成23年11月1日～30日を接遇強化月間としました。この接遇強化月間に伴いまして、本院全職員を対象として、11月10日(木)・11日(金)に接遇講演会・研修・院内巡視を実施しました。

講演会講師には、E&Eプロモーション(株)代表取締役の石割郁子先生をお招きして、「患者満足度向上につながる接遇－患者さんの目線から見たよりよい対応とは－」と題して講演していただき、両日とも約200名の参加があり、参加者は、熱心に聞き入っていました。

また、コメディカル・事務系職員対象研修及び看護師対象研修においても、石割先生にご指導いただき、院内巡視においては、同行のうえ、現場で直接ご指導いただきました。本研修全てを通して、参加者は真剣に取り組んでおり、今後の接遇・サービスに役立てようとする意気込みが感じられました。

2日間実施した本研修におきまして、特に院内巡視では、外来の患者さんや入院中の患者さんへご迷惑をおかけしたことと思いますが、ご協力いただきありがとうございました。



石割郁子先生



院内巡視



看護師対象研修



コメディカル・事務系職員対象研修

## 空き缶の巣

海中の春は一足遅くやってきます。陸上では、桜が咲き乱れ春爛漫という頃でも、海中はまだまだ春というには程遠いものです。しかし、水温は低いとはいえ、浅瀬の海底には、緑藻が繁茂し、その上にキラキラと春の日差しが踊り、春の気配が感じられます。

しばらく泳ぐと、藻の上に心無く放り込まれた空き缶がありました。私が拾おうと手を伸ばすと、缶の口から、ニジギンポのオスが顔を出しました。彼は、窮屈そうに上半身を出すと、胸鰭を振りはじめました。覗き込んでみると、缶の内側の壁にびっしりと黄色い卵が産み付けられています。彼は、卵に新鮮な海水を送っているのです。

本来、ニジギンポは、貝殻に卵を産みつけます。ところが錦江湾では、今や貝殻を巣に使うことはめったにありません。錦江湾で彼らが使うもっとも多い巣材は、空き缶なのです。彼らの繁殖は、良い巣を見つけることから始まります。貝殻のように卵が丸見えの巣は、メスに好まれません。空き缶は、入り口は小さくて守りが堅く、中は広々、内側は平滑で掃除も不要。こうして、空き缶は、ニジギンポにとって、産卵巣に最適の「物件」として人気を博することになりました。おかげで、ニジギンポはいまや錦江湾の浅瀬で最も多く見られる魚の一つとなりました。しかし、その影で、彼らと住処や食性が近いナベカやイダテンギンポなどの魚が数を減らしています。

心無く捨てられたゴミを、魚たちはたくましく利用します。捨てられたゴミが、人知れず、錦江湾に暮らす生き物たちの暮らしに大きな影響を与えているのです。



空き缶の「巣」で卵を守るニジギンポのオス。孵化まで約6日間、卵を守る。

## TOPICS

### 病院 再開発

現在の建物は築後30年以上が経過しているため、病院内施設の充実、患者さんの療養環境改善を目的に、平成19年度から建物の増築・改修を行っています。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

## モデルルームを造りました

新病棟に整備される1床室、4床室、多目的トイレ、スタッフステーションのモデルルームを造りました。現場の医師や看護師に意見を聞き、紙面で検討してきたことに問題がないか、再確認をするためです。特に病室、トイレは、患者さんの療養環境に直接関わってくる場所なので、現場の意見を反映させて、より良いものを造りたいと思います。



4床室のモデルルーム

## 広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気について的一般知識など知りたいことがありましたら、お知らせください。  
また、「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。

## 鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈25号〉

2012(平成24)年4月発行

発行／鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>